

取扱説明書

モノタロウ アルミジャッキ 低床 ダブルピストン

注文コード:83381454(1.5T)
83381463(2.T)

このたびは、アルミジャッキ 低床 ダブルピストンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要です。必ずお守りください。



危険

この表示内容が無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめています。



警告

この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。



注意

この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。



危険

- 本製品は自動車のタイヤ交換や整備のためのものです。本来の用途以外で使用しないでください。
- 自動車をジャッキアップ・ジャッキダウンさせる際は、車体の下や周りに人がいないこと、他の車両や工具、部品がないことを確認してから作業を行ってください。また、ジャッキアップ中に車両の下へ手、足、身体を入れないでください。
- ジャッキを設置する際は使用中に絶対にジャッキが外れない部分に設置してください。ジャッキアップしている対象物を破損させたり、対象物が落下するなどの危険性があります。
- 本製品はジャッキアップするためにご使用いただくものです。ジャッキアップ状態を保持するためのものではありません。ジャッキアップした状態のままでは保持させる際は、必ず別売のジャッキスタンドを2個ご使用ください。
- ジャッキを使用する前に負荷のない状態でジャッキアップテストを行ってください。
- 最大荷重を超える負荷で使用しないでください。

注文コード	83381454	83381463
最大荷重	1,500kg	2,000kg

- 安全バルブは適正な荷重になるように出荷時に調整されているため、絶対にさわらないでください。
- ジャッキアップした状態で車両から離れないでください。
- 安全のため、別売りのジャッキスタンドで支えながら作業してください。

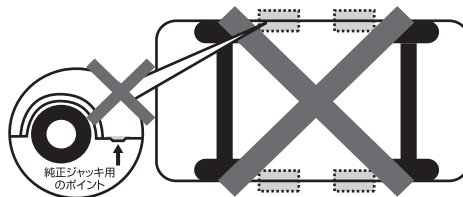


警告

- 本書をよく読み十分に理解したうえで使用してください。本書に記載の注意事項を必ずお守りください。
- 本製品は自動車整備に関する一般的な知識を有する方が使用することを前提に製造しています。
- ジャッキに異常が発生した場合（オイル漏れ、変形など）、使用をただちに中止して、異常箇所の修復を完全に行うまで使用せず、モノタロウお問合せ窓口までご連絡ください。そのままご使用になった場合、重大な事故につながり大変危険です。
- ジャッキアップする際は必ず平らで固い路面の上で行ってください。傾斜地や凹凸のある地面、柔らかい地面では使用しないでください。
- ジャッキアップは平らで硬いコンクリート面での作業をお勧めします。地面に亀裂や異物がないことを確認の上、作業をしてください。アスファルト面は材料の配合や温度上昇などの条件により柔らかくなり、キャストが地面にめり込み、キャストに負荷がかかるおそれがあるためお勧めしません。
- ジャッキアップする前に、必ず車のサイドブレーキを引き、ジャッキアップしない方のタイヤに輪止めをしてください。
- ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカー・販売店などへ問合せ、必ず事前に確認してください。

必ずジャッキポイントが適切な位置が確認してからジャッキアップしてください。また、ジャッキポイントがわからない方は、使用前に販売店および整備工場で確認してください。

★純正ジャッキ用のポイント(右図  部分)で本製品を使用すると、車両を破損させるおそれがあります。このジャッキポイントでの使用は絶対におやめください。



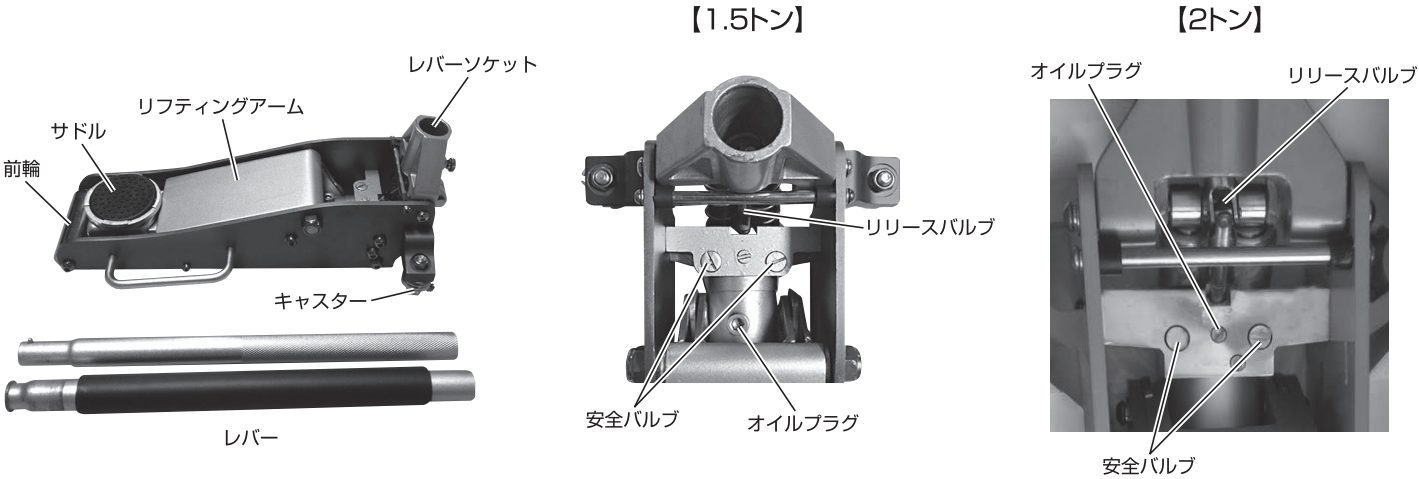
- 電子制御サスペンション車の場合は、必ず自動車に添付の取扱説明書を確認してからジャッキアップしてください。
- 車両指定のジャッキポイントでジャッキアップする場合、ジャッキポイントの形状とサドルの形状が合っているかを必ず確認してください。形状が合わない場合に無理にジャッキアップするとジャッキポイントが破損するおそれがあります。
- ジャッキアップやジャッキダウン中にジャッキアップした物を揺らしたり、力を加えたりしないでください。また、ハンドル以外の場所には絶対に触れないでください。
- ジャッキアップ中にジャッキポイントとサドルがずれることがありますので、時々確認しながら作業を行ってください。
- ジャッキを下げる際は、必ずゆっくりとノブを回して本体内部にあるリリースバルブを緩めてください。速く緩めると車両が急に降下して大変危険です。
- 必要以上に対象物をジャッキアップしないでください。



注意

- 2台以上の複数のジャッキを同時に使用しないでください。
- ジャッキを持ち運ぶ際や、ジャッキの上げ下げの際に、ジャッキの可動部分で指などを挟まないよう注意してください。
- ジャッキアップする時以外はハンドルを本体から外しておいてください。
- 購入時はリリースバルブは少し緩んだ状態です。

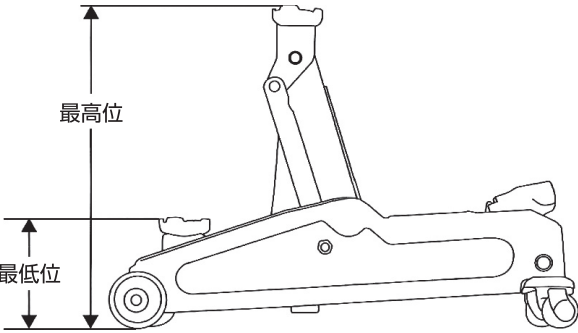
2 各部の名称



3 製品の仕様

注文コード	83381454	83381463
最大耐荷重(トン)	1.5	2
寸法(WXHxD)(mm)	510X235X135	650X307X148
揚程(mm)	最低位 85 最高位 350	88 465
使用温度範囲(℃)	-10から+45	
質量(kg)	14.5	19
サドル寸法(mm)	Φ97	Φ115
ハンドル径(mm)	Φ33.2	Φ36
ハンドル長さ(mm)	955	1210
レバー長さ(2本接続時)(mm)	955	1210
作動油	油圧潤滑油(ISO VG 10)	
作動油量	90mL	210mL

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。



4 ご使用方法

■ 使用前の準備

ジャッキアップする前に以下の準備をしてください。

【ジャッキアップ前の確認】

●必ずジャッキポイントの位置でジャッキアップしてください。ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカーや自動車販売店等へ問い合わせをし、必ず事前にご確認ください。

●ジャッキアップする際は、必ずタイヤストッパーを下図のようにジャッキアップするタイヤの対角線上のタイヤにかけてください。

【準備物の例（別売）】

ジャッキスタンド(3t)
注文コード：19263886など

タイヤストッパー(2トン用)
注文コード：41446167など

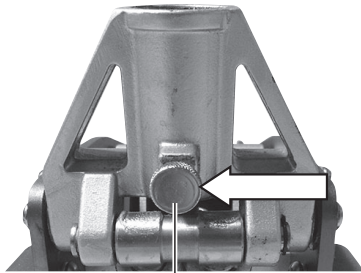
⚠ 注意

- レバーを差し込んだらレバーを引っ張ってレバーが抜けないことを確認してください。もし抜ける場合は、レバーがソケットにしっかり差し込めているか再度確認してください。

1 ジャッキを揚げる場合

- ① 平らで固い路面にジャッキを置き、車両のジャッキポイントの位置にサドルを合わせます。
- ② 2本のレバーをしっかりと接続してください。しっかり接続が出来ていない場合、リリースバルブを締める際に力がかからず、きっちりと締めることができません。
- ③ レバーをレバーソケットに差し込み、固定ボルトをしっかりと締め、レバーが抜けないようにしてください。(図1)
- ④ レバーを時計回り(右)に回して、リリースバルブをしっかりと締付けてください。(図2)この時、締付けが不十分な場合、ジャッキアップしなかったり、下がってきたりしますのでしっかりと締めてください。ただし、過度に締付けると故障の原因になります。
- ⑤ レバーを上下に動かしてサドルをジャッキポイントの近くまで上げて、いったん停止します。
- ⑥ 荷重がサドルの中心にまっすぐかかることをよく確認します。(図3)
- ⑦ 確認できたら、再度レバーを上下に動かして車両をジャッキアップします。

図1



固定ボルト(手で回して締める)

図2

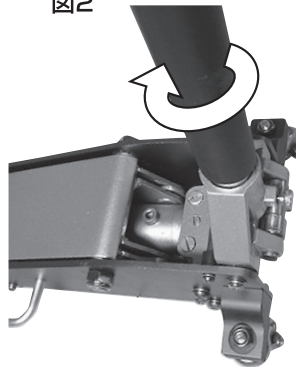
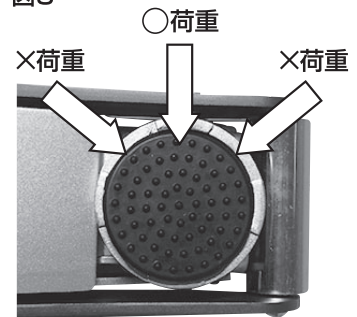


図3



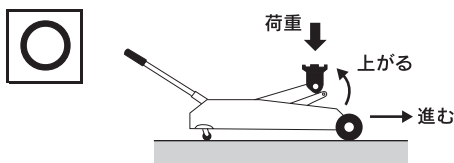
⚠ 注意

- レバーの角穴とレバーソケット内部の角軸の向きを合わせてハンドルを差し込んでください。
- レバーを引っ張り、抜けぬか確認してください。抜ける場合はレバーの角穴とレバーソケット内部の角軸の向きを確認してください。

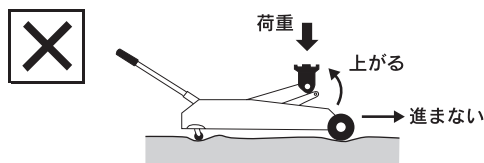
⚠ 警告

- ジャッキアップする際は必ず平らで固い路面の上で行ってください。傾斜地や凹凸のある地面、柔らかい地面では使用しないでください。
- ジャッキアップは平らで硬いコンクリート面での作業をお勧めします。地面に亀裂や異物がないことを確認の上、作業をしてください。
アスファルト面は材料の配合や温度上昇などの条件により柔らかくなり、キャストが地面にめり込み、キャストに負荷がかかるおそれがあるためお勧めしません。

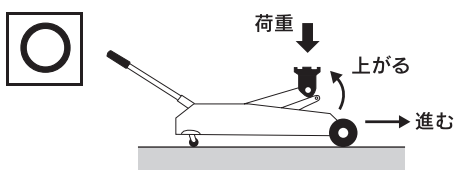
● 強固な地面(可)



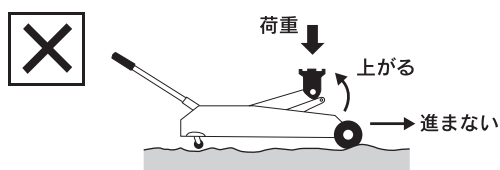
● 柔らかい地面はめり込んで進まない(不可)



● 鋼板等の強固な板を敷いた場合(可)



● 凹凸な地面は前に進まない(不可)



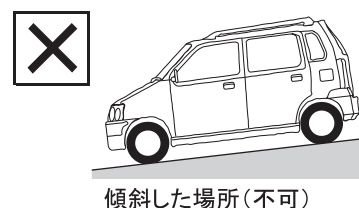
● 傾斜した場所や勾配のある道路では使用しないで下さい。



水平で強固な場所(可)



傾斜した場所(不可)



傾斜した場所(不可)

⚠ 危険

- サドルを上昇・下降させた時に、ジャッキが追従して移動することを確認してください。移動できいまま使用すると、サドルがジャッキポイントから外れ、自動車力落下し**死亡事故や重傷を負う危険**があります。



※図のようにジャッキアップ反対側に車輪止めをして下さい。



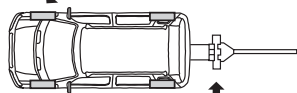
負荷点が移動

⚠ 警告

- ジャッキアップの際は、車のタイヤをまっすぐの状態にして、ジャッキを車体に対してまっすぐにいれてください。ジャッキの向きが斜めになっている状態でジャッキアップした場合、サドルがジャッキポイントから外れ自動車が落下し**使用者が死亡したり重傷を負う危険**があります。



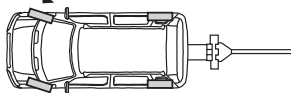
タイヤの向き



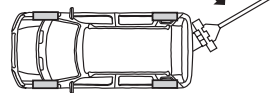
ジャッキの向き (正)



タイヤの向き



ジャッキの向き



- サドルを上昇させて、サドルが車体に当たった時点で一時停止させて、サドルが車体のジャッキポイントの正しい位置(荷重の中心がサドルの中央にかかる位置)にセットされていることを確認してください。セットする位置がずれていた場合、車体に変形したり、荷量バランスの崩れにより重大な事故につながります。
- 重たい荷物や人を乗せたままジャッキアップしないでください。
- 自動車のエンジンをかけたままで使用しないでください。
- ジャッキが上昇しない場合や、ジャッキが下がってしまう場合は、リリースバルブがゆるんでいる可能性がありますので、レバーを右回りに回してリリースバルブをしっかりと締めてください。
- 変速ギヤはオートマチック車の場合は「P」に、マニュアル車の場合は「ロー」または「バック」に入れてください。

2 一定の高さで停止する場合

ハンドルの上下操作を停止すると、サドルが自動車を保持したままの状態になります。

⚠ 警告

- **ジャッキアップしたままの状態では絶対に車体の下には絶対に入らないでください。車体の下に入って作業する場合は必ず十分な耐荷重のある別売のジャッキスタンドを使用してください。**
- ジャッキアップした状態のままで自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。
- ジャッキアップ中はレバーを回転させてリリースバルブを締めたり、ゆるめたりは絶対にしないでください。

3 ジャッキを下げる場合

レバーを反時計回り(左)にゆっくり回しサドルを下降させてください。

その際、絶対に180°(半回転)以上回さないでください。(図4)

オイル漏れや故障の原因になります。

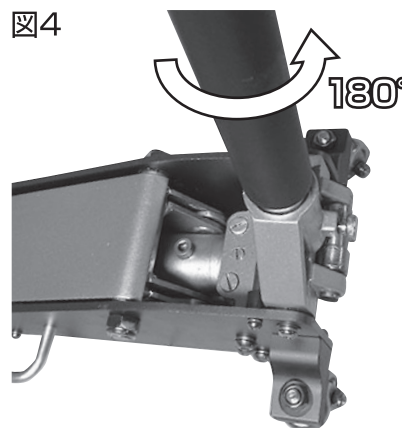
⚠ 警告

- ハンドルを急に回さないでください。サドルが急激に降りると自動車が落下し**使用者が死亡したり重症を負うおそれ**があります。

⚠ 注意

- オイル漏れや故障の原因になりますので、レバーは1180°(半回転)以上回さないでください。オイル漏れや故障の原因になります。(図4)

図4



4 作業終了

作業が終了したらサドル、リフティングアームなどに付着した泥、オイル、グリス、水滴などの汚れをきれいにふき取ってください。

5 安全バルブについて

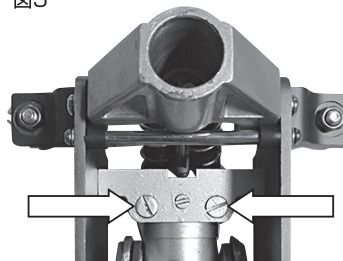
- 安全バルブはジャッキアップが適正な荷量になるように出荷時に調整されておりますので、絶対に触らないでください。
(ジャッキに適正荷重以上の負荷がかかった場合、作動しない様になっています。)(図5)

⚠ 注意

- 本製品をご使用の際は、必ず適用車両重量以下の車両にてご使用ください。
- 車両をジャッキアップしたままの状態に触らないでください。
- ジャッキアップしたまま車両の下に絶対に潜らないでください。
大変危険です。
- **本製品はジャッキアップするためにご使用いただくものです。
ジャッキアップ状態を保持するためのものではありません。
ジャッキアップした状態で作業は必ず別売のジャッキスタンドを
ご使用ください。**
- **車両の下で作業する場合は必ず別売のジャッキスタンドを使用してください。**
- ジャッキを下げる際はバルブを必ずゆっくりと回し、緩めてください。
(急に回しますと、車両がいきにく下がりますので危険です。十分ご注意ください)

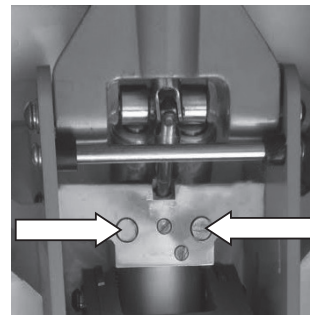
【1.5トン】

図5



注文コード:83381454

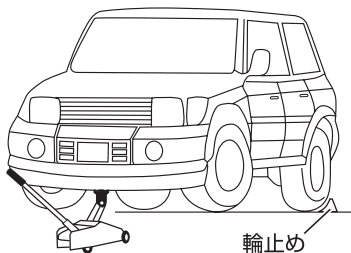
【2トン】



注文コード:83381463

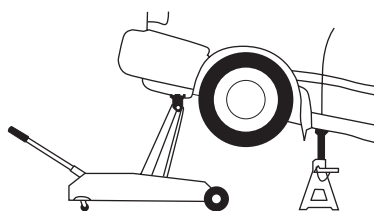
6 ジャッキアップ手順

1



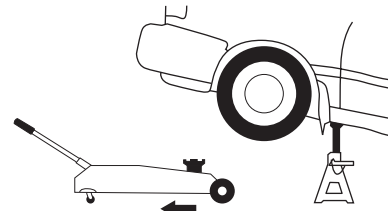
- ① ジャッキを使用してセンターでジャッキアップします。
- ジャッキポイントは必ず確認してください。
また、必ず輪止めをしてください。

2



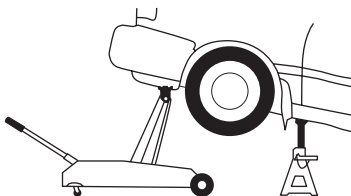
- ② ジャッキスタンドをジャッキポイントに高さを合わせて置きます。

3



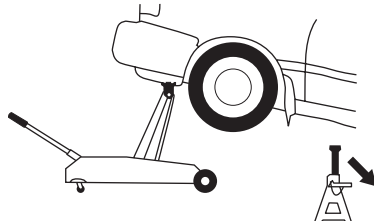
- ③ ジャッキを下げて移動させます。
- 車体がジャッキスタンドで完全に固定されていることを確認後作業します。

4



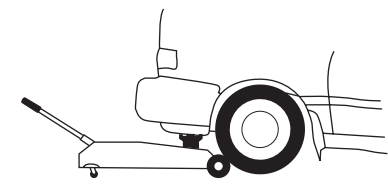
- ④ 作業が終わったらジャッキで車体を再度ジャッキアップします。

5



- ⑤ ジャッキスタンドを取り除きます。

6



- ⑥ ジャッキをゆっくり下げます。

⚠ 危険

- **ジャッキアップは平らで硬いコンクリート面での作業をお勧めします。
地面に亀裂や異物がないことを確認の上、作業をしてください。アスファルト面は材料の配合や温度上昇などの条件により柔らかくなり、キャスターが地面にめり込み、キャスターに負荷がかかるおそれがあるためお勧めしません。**

7 メンテナンス

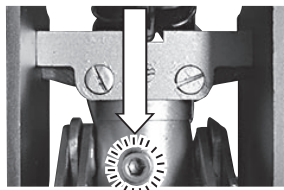
1 ジャッキのお手入れ

- ① ジャッキを使用しない時は、錆などによる動作不良防止のため、リフティングアームおよびレバーソケットを最下部まで下げておいてください。
- ② ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
- ③ オイルの量が減少した場合、下記ジャッキオイルの補充および交換図を参照の上、適量を補充してください。
- ④ 頻繁にご使用になる場合、良好な状態を保つ為、約1年毎にジャッキオイルを交換してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換図参照)
- ⑤ 錆や動作不良などの故障の原因になりますので、雨や雪の当たるところおよび湿気の多いところには保管しないでください。

2 ジャッキオイルの補充および交換

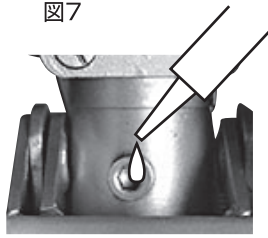
- ① オイルプラグを工具などを使用して外し、レバーを左に回転させてゆるめます。(図6)
- ② ジャッキオイル(別売)をオイルプラグの穴から入れすぎに注意して少量ずつ注入してください。また、オイル注入中にゴミ入らないように注意してください。(図7)
- ③ ジャッキオイルの適量はジャッキを水平な場所へ置き、リフティングアームを最下位まで下げた状態でオイル
- ④ プラグの穴から油面まで約5mmの空間を設けた位置です。(図8)
- ⑤ 補充作業が終了したら、オイルプラグを元の状態に戻してください。

図6



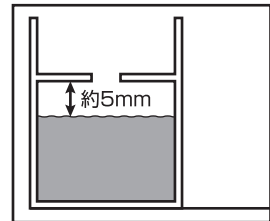
【1.5 トン】

図7

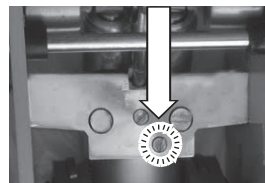


【1.5 トン】

図8



注文コード:83381454



【2 トン】



【2 トン】

注文コード:83381463

⚠ 警告

- 火気のある場所やその近くでオイル交換および補充しないでください。

⚠ 注意

- エンジンオイルやその他のオイルは粘度などが違うため作動不良の原因となりますので絶対に使用しないでください。必ずジャッキ専用オイルを使用してください。作動油:油圧潤滑油(粘度:ISO VG10をおすすめします)
- ジャッキオイルを補充する際にオイルタンク一杯に入れるとジャッキが作動しません。必ずリフティングアームを最下位に下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約5mmの空間を設けてください。

3 エア抜き

ジャッキが途中でしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足またはエア抜きが完全に出来ていないことが考えられますのでジャッキオイルを適正な量まで補充して、エア抜きしてください。

- ① ハンドルを回してリリースバルブを時計回りに絞めこみ、完全に締まった状態から、反時計回りに180°緩めます。(図9)
- ② ハンドルを倒してリリースバルブを最下位にします。(図10)
- ③ オイルプラグを1回転程度緩め、オイルプラグのすき間を開けます。(図11)
- ④ その状態でオイル注油口から、オイルがあふれるまでハンドルを10~20回ほど素早く上下させポンピングさせます。
- ⑤ エア抜き作業が終了したら、オイルプラグを元の状態に戻してください。

● 正常に作動しない時は、2～3回繰り返し行ってください。

図 9

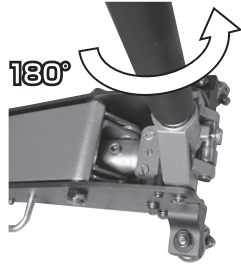


図 10

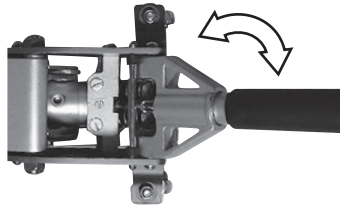
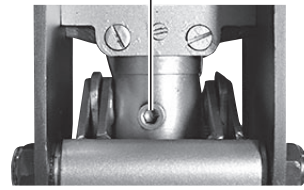


図 11

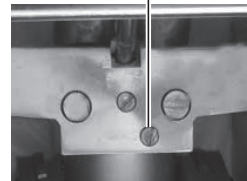
オイルプラグのすき間を開ける



【1.5トン】

注文コード:83381454

オイルプラグのすき間を開ける



【2トン】

注文コード:83381463

8 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度取扱説明書をよくお読みになり、下記の点検をしてください。それでも状態に変わりがない場合は、モノタロウお問合せ窓口へご相談ください。

症状	原因	対策
適正負荷でジャッキアップしない	オイル不足	オイル補充
	リリースバルブがしっかり締まっていない	リリースバルブを確実に締める
	油圧ユニットの故障	モノタロウお問合せ窓口へご相談ください
ジャッキが上で停止しない（自然に下降する）	オイル不足	オイル補充
	オイル漏れ	モノタロウお問合せ窓口へご相談ください
	リリースバルブがしっかり締まっていない	リリースバルブを確実に締める
ジャッキが最高位まで揚がらない	オイル不足	オイル補充
	油圧ユニットに空気混入	エアー抜きをする
ジャッキが最下位まで下がらない	各部の錆	潤滑剤を注油
	リターンスプリングの錆、へたり	リターンスプリングの交換
	油圧ユニットに空気混入	エアー抜きをする

9 関連商品

タイヤ
ストッパー



ジャッキスタンド

